

# 部活動地域移行・地域連携に関するアンケート（中学校教職員）

118

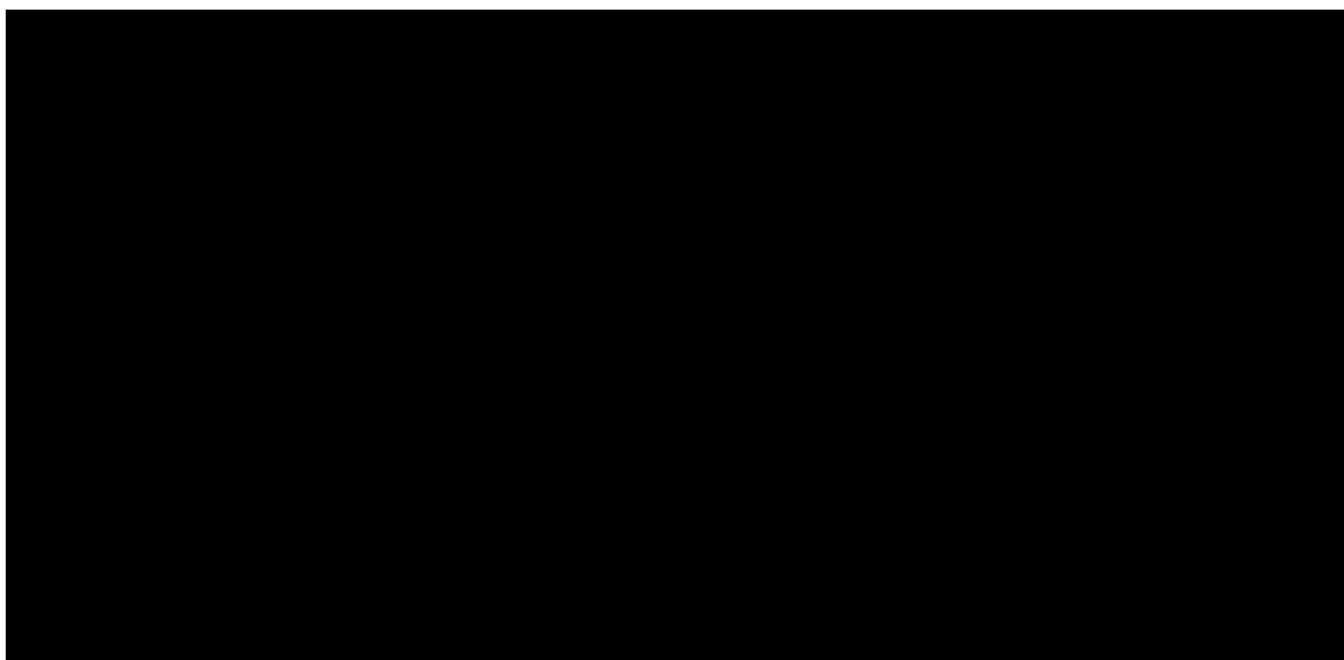
応答

14:55

完了するのにかった平均時間

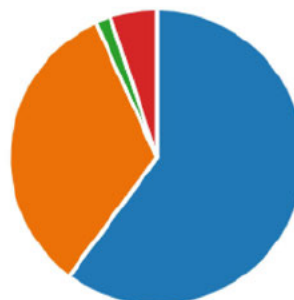
終了済み

状態



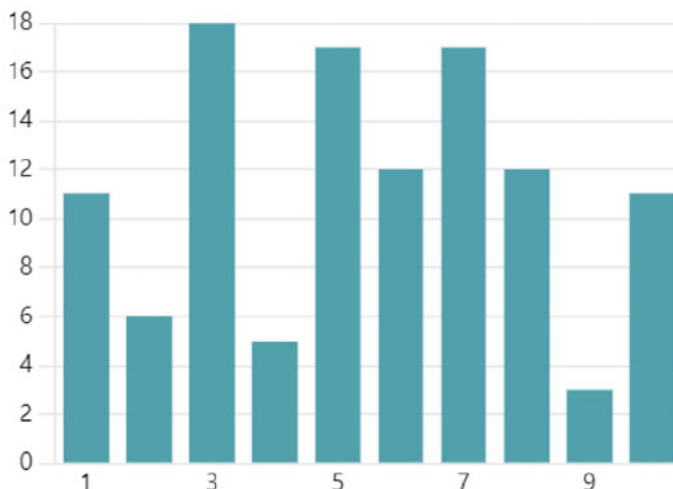
2. あなたが現在、担当(顧問)をしている部活動を次から選択してください。

<span style="color: blue;">●</span> 運動部	71
<span style="color: orange;">●</span> 文化部	39
<span style="color: black;">■</span> 運動部と文化部両方	2
<span style="color: black;">■</span> 担当していない	6



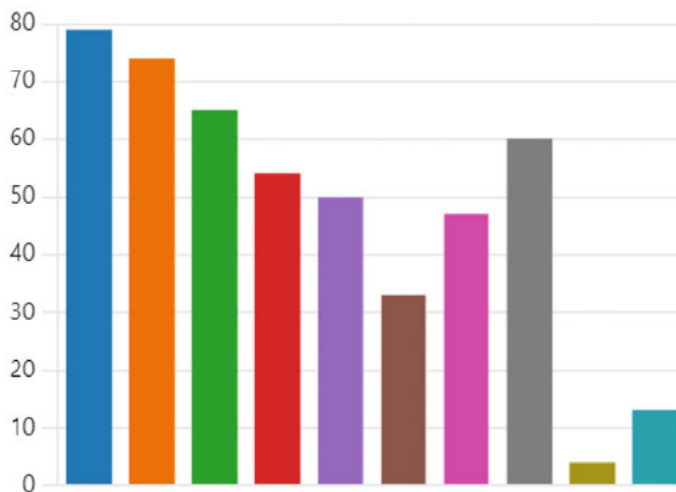
3. 担当(顧問)をしている部活動のやりがいを10段階で表すと何点になりますか。

5.41  
平均評価



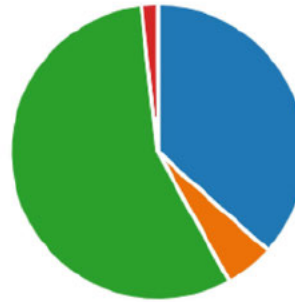
4. あなたが、部活動の担当(顧問)をしている中で、どのようなことを負担に感じていますか、次から選択してください。(複数回答可)

- 帰宅時間が遅くなること 79
- 休日に指導や引率をすること 74
- 教材研究の時間が減ること 65
- 自分の自由時間が減ること 54
- 経験のない部活動を指導すること 50
- 中体連関係 33
- 人間関係(保護者対応含む) 47
- 特殊勤務手当が不十分であること 60
- 負担は感じていない 4
- その他 13



5. 今、担当(顧問)している部活動の経験を次から選択してください。

● 過去に、一定期間、競技者・活動...	41
■ 過去に、競技・活動を趣味として行...	6
● 経験のない部活動を指導している	63
■ その他	2



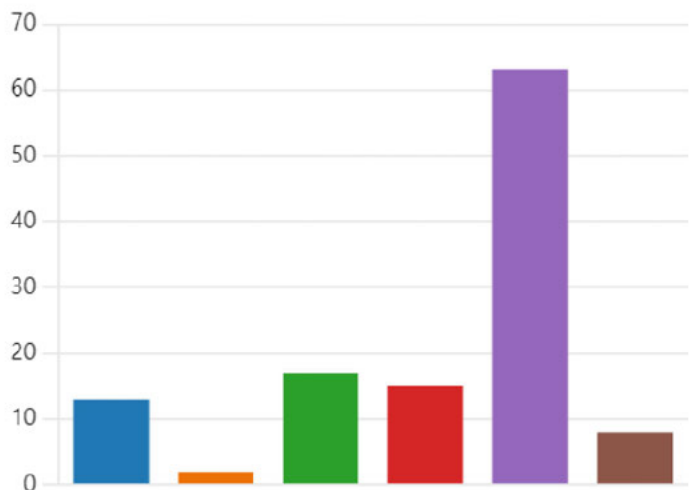
6. 部活動の指導等が、長時間労働の一因になっている等の指摘がありますが、現在の部活動の在り方を変えることについての、あなたのお考えを、次から選択してください。

■ 全面的に変えるべき	46
● 実状に応じて部分的に変えるべき	67
● 変える必要はない	0
■ その他	5



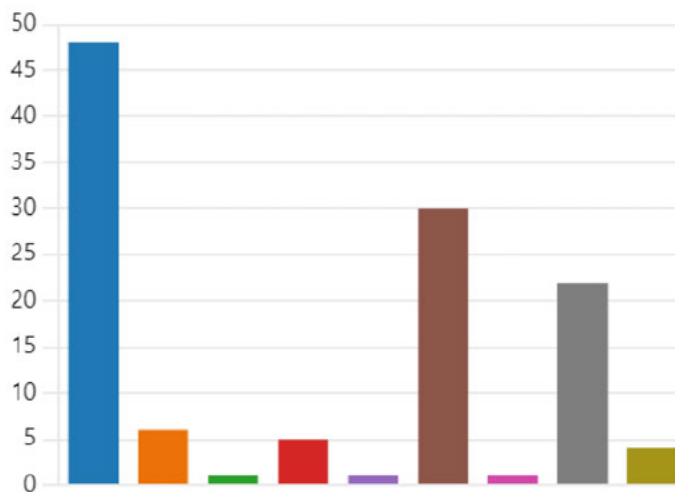
7. 改革推進期間最終年度(令和7年度)までの部活動の「地域移行・地域連携」について、あなたの意見に最も近いものを次から選択してください。

● 今後も、学校の部活動として提供する	13
■ 大会等の引率から「地域移行・連...	2
■ 休日の部活動から「地域移行・連...	17
● 平日の部活動から「地域移行・連...	15
■ 休日・平日を同時に「地域移行・連...	63
● その他	8



8. あなたが考える部活動の「地域移行・地域連携」の最も大きな課題について、次から選択してください。

● 人材(指導者等)の確保	48
● 受け皿となる団体の招致	6
■ 生徒・保護者の理解	1
■ 教員の理解	5
● 会費	1
● 責任の所在	30
● 活動場所の確保	1
● 学校における部活動の位置付け	22
■ その他	4



9. 部活動が、「地域移行・地域連携」された場合、あなたの指導への関わり方について、次から選択してください。

● 全面的に、指導に関わりたい	11
■ 部分的に、指導に関わりたい	32
● 指導に関わるか悩んでいる	27
● 指導に関わりたくない	45
■ その他	3



10. 問9で、「全面的に、指導に関わりたい。」「部分的に、指導に関わりたい。」を選択された方に伺います。どこで、指導に関わりたいか、次から選択してください。

● 学校が所在する地域	37
● 自身が居住する地域	6
● その他	0



11. 問9で、「指導に関わるか悩んでいる。」「指導に関わらない。」を選択された方に伺います。「地域移行・地域連携」について何か不安や懸念があれば、自由に記述してください。

47  
応答

最新の回答

24回答者 (51%) この質問に 活回答しました。

勤務時間 ため  
地域移行  
地域  
実  
活動  
教員  
方  
必要  
活  
生徒  
部活動  
指導  
対応  
部活  
学校

問9で、「指導に関わるか悩んでいる。」「指導に関わらない。」を選択された方に伺います。「地域移行・地域連携」について何か不安や懸念があれば、自由に記述してください。

今までやってきた部活動の教育的価値は十分承知だし自分自身長年関わってきたが、現在の長時間過密労働をドラスティックに転換させるためには、部活動を私たちの業務と切り離す必要があると思う。かなり思い切った改革をしないと教員不足に拍車がかかると思う。学校は「勉強を教えるところ・学ぶところ」という考え方を推し進める必要があると思う。

・「顧問」をなくし、習い事のように家庭と実施団体との契約にする。場所は必要であれば校内を提供するが、管理責任の所在は実施団体とする。このような内容での地域移行となるならば、学校の教員が係わることは避けた方が良く考えます。

・「中途半端な地域移行」が一番混乱を招くと思います。

これまで教員のサービス心に甘えてグレーに運営してきた部活を変えるために、区市町村単位ではなく、都全体で大きな指針を出してもらいたい。

そもそも部活動と学校教育を切り離すべきと考えているため

まず勤務時間内でおわることはない。終わりにすればいいと言われても、全部活がそうしなければ結局批判を浴びるのは教員である。部活を学校の取り組みとして位置づけるならば、勤務時間の調整も考えてほしい。

まったく、独立したクラブチームにするしかないと思われる。代表も保護者の中で行う。それができないなら立ち上げない。

育児、家庭生活との両立。

引率や会計事務、その他生活指導に関わる場合は、多少なりとも指導も担当していた方が生徒との人間関係を築きやすいと考えている。ただ、休日の手当の低さ(平日の手当の無さも)や指導に関わるための時間の確保の大変さは負担に感じている。

学校がどのように関わることになるのかがわからない状況なので、どのくらいの負担になるかわからないから。

学校の枠組みで行うと問題があった時の指導は学校の責任になるのではないかと

学校活動の一環である限り、生活指導等のかかわりがでてくる場所。

学校事情をわからない方々との地域連携は、別の問題が生じる懸念がある。

教員間の理解

勤務外手当による

勤務時間外に労働と認められない生徒指導が生じる可能性があること。

現在の勤務終了時刻移行必ず部活に行けるかという保証はないと思います。現在も保護者への連絡、教材づくり等を16:40以降に行っているのが現状です。

指導に関わるのであれば、勤務校ではなく、自分が住んでいて、家族が所属している、または所属していたチームを指導するのがベターだと思います。

指導員のみで休日、祝日の指導が可能になるかどうか。

指導者人材確保やけが等の責任所在をはっきりさせられるか。地域移行と言いながら実質学校の施設を使い、問題が発生したとき(トラブルや怪我)学校に問題が持ち込まれないか。

自分が培ってきたノウハウは生かしたいと思う。そのためには、今のペースで部活動と関わらなくてはいけない。それでは、何も変わらない。自身の家族や生徒のこと、これからを担う若い世代の教員を考えて、葛藤する日々です。

自分自身家族を犠牲にして、部活動の指導をしてきたし、今もそのような状況にある同僚を見ていて本当に心が痛む。地域性もあると思うが、比較的習い事や塾などで家庭がしっかりと教育するということがしやすい地域であると考えてるので、地域に完全に移行していただきたい。地域の指導者が確保できる競技のみ、移行できたらよいのではないかと思う。現在存続している部活動すべての活動を存続させるのは指導者の確保が難しい。

実現していくのか不安。

また、基本的に土日祝日出勤は日給が高くなるはずが、大会等で1日勤務することになったとしても、あまり金額が変わらないことに、驚いている。また、土日は多少なりともお給料が出るとして、16:40退勤のところ18:30まで部活がありながら、残業代が出ないといった点も理解しがたい。

人材が見つからないことで結局教員が担わなければならないこと。

人材が見つからないから活動なしとなった時、学校や教員への強い要望やクレームにつながるものが最も大きい懸念事項である。

生活指導上の問題があったとき、結局は学校の教員に対応を委ねられる可能性が大。

生徒の要望にこたえる形の活動には限界がある。多種多様の考え方を持った生徒保護者の対応も難しい。

生徒も保護者も「誰を向いて活動すればいいか」迷うと思う。指導員の方の資質も大きい。

責任の所在が不明確

責任の所在と指導の持続性について

他区ではすでに部活動の引き受け業者を選定し、活動を行っているとも聞いています。文京区ではどのような体制になるのかがはっきり打ち出されない状況では、教員が部活動にかかわる必要があるのか、ないのかが答えにくい内容です。

大会の運営など

地域の指導と学校側の指導で違いが生まれる可能性がある。生徒が都合のよい解釈をする可能性が増え、指導が困難になることが予想される。

地域の人が生徒指導できるのかどうか。

地域移行が円滑に行われず、半強制的に教員が指導に当たらなければならないこと。

地域移行された場合、学校でのルールは踏襲されるのか。地域移行された場合の指導者は、技能や技術の指導を行うと考えられるため、生徒の生活指導等は行わないのか。また、不適切な指導を行ったり、不適切な関係を築く可能性も増えると思う。

地域移行した先でのトラブルの対応や、問い合わせ先の所在。

地域移行できるところと、できないところが生じた場合の差。

地域移行するのであれば、きっぱり分けて考えたい。

地域移行をした際に、大会の運営をだれがやるのかという問題があると思う。各校の行事予定もあるなかで、大会日程や会場を都合したりする必要があるので、教員はその場に参加するべきと考える。しかしながら、部活動を地域に完全に移行してしまうと、それが円滑にできないのではないかと考える。

働き方改革の一環としても部活動の地域移行・地域連携が進められているが、十分な予算(受益者負担による家庭からの参加費の徴収も含めて)が付かなければ実現が難しいと感じます。教職調整額が支払われているとはいえ、これまで勤務時間を超えて(休憩時間の活動も含む)教員が負担していた部分について、勤務の大幅な変更が必要だと考えます。もし学校の教育活動として部活動が欠かせないものであるなら部活動を担当する教諭を午後のシフト勤務にして対応するなど7時間45分(休憩時間を含む)の勤務時間で教師という職業が実現できるようにしてもらいたい。やりがいと教育活動として必要だから、予算が付かないからという理由でなし崩し的に現状を維持するような方向に進まないことを期待しています。

特になし

特になし

不安なし

不安や懸念は全くありません。是非、全面的に地域移行をすべきだと思っております。

部活を学校と切り離れた活動にしてほしいと考えているが、それには保護者の理解、指導者の確保、経費の確保などが必要なので急には難しいと思う。また、部活をもっている先生イコール熱心な先生、部活をもっていない先生イコールやる気のない先生のように見られるのであれば、本当はやりたくなくてもやらざるを得ない状況になり、教員の働き方改革につながらないと思う。

部活動には、交流および共同学習の一環として参加している特別支援学級の生徒(本人の実態としては本来参加に厳しい点もあるが、交流へのニーズが高い)や特別な配慮が必要な生徒も参加しており、単に競技の専門性が高いだけでなく、そのような生徒の対応や指導、参加のさせ方に対しても十分な経験が必要であることを懸念している。

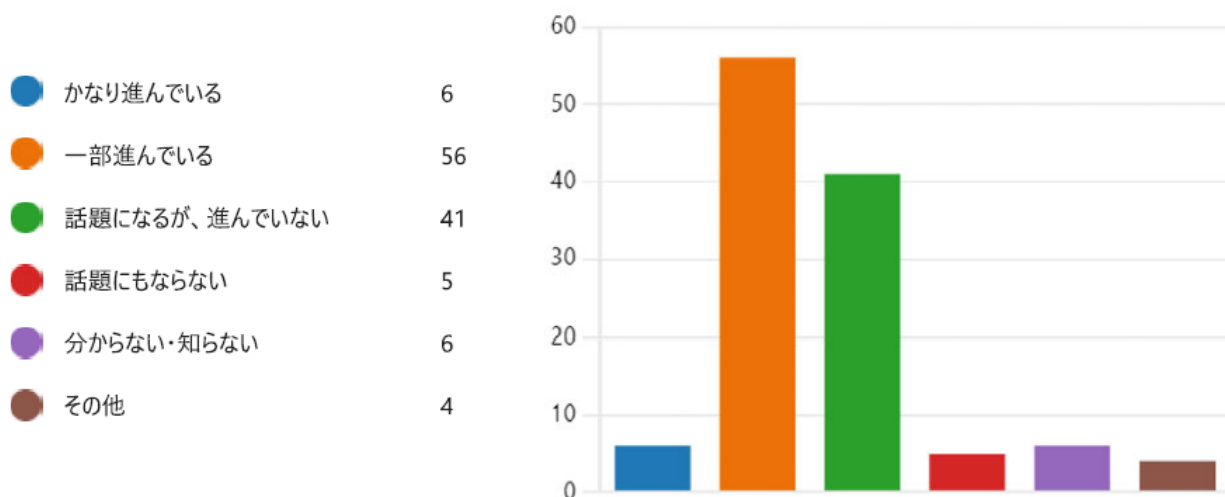
部活動の位置づけがあいまいであるため。

平日の勤務時間外に活動している部活動に対して対価がきちんと払われていないのは、やりがい搾取といわれてもしょうがないのではないかと感じる。生徒に対して何とかしてあげたいと思っている先生方が多い中で、それに見合った手当が支払われていないのが問題と感じる。

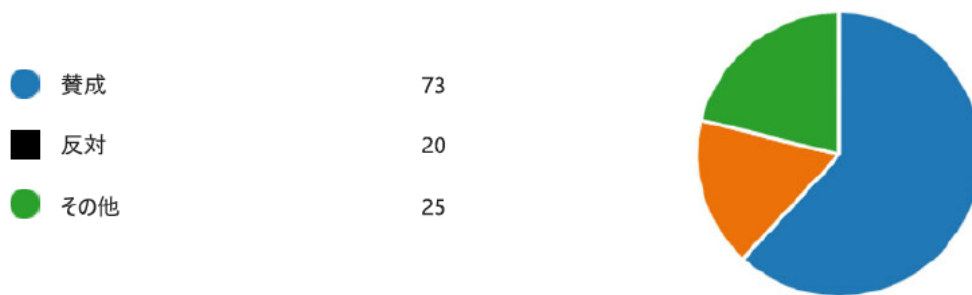
養護教諭なので、ケガの対応が心配。残業するのは、保健室業務であり、部活動のケガの手当ての為に残っている訳ではないから。



12. あなたの学校では、部活動の在り方を改善する取組は、進んでいますか。あなたの受け止めを、次から選択してください。



13. あなたは、中学校体育連盟主催の大会や中学校吹奏楽連盟主催のコンクール等に、地域のクラブチームや文化活動団体等が参加することになったとしたら、どのように思うか、次から選択してください。



14. その他、部活動の「地域移行・地域連携」にご意見があれば、自由に記述してください。

47  
応答

最新の回答

"運動部などで将来的な競技者のレベルの向上（世界で互角に渡...

更新

29回答者 (63%) この質問に 活動回答しました。

A word cloud of responses in Japanese. The most prominent words are '活動' (activity), '地域' (region), '部活動' (school sports), and '地域移行' (regional relocation). Other visible words include '学校' (school), '教員' (teacher), '顧問' (advisor), '連携' (cooperation), '確保' (assurance), '負担' (burden), 'クラブチーム' (club team), '保護' (protection), '部' (department), and '指導' (guidance).

その他、部活動の「地域移行・地域連携」にご意見があれば、自由に記述してください。

地域移行には様々な課題があるし、いろいろな意見があると思うが、段階的（といっても3年から5年ぐらいのスパンで）に移行すべきだと思う。どこかで思い切った改革をしなくては、結局ずると今までのような教員の「サービス精神」に頼った学校が続いてしまうのではないだろうか。

12は、大いに賛成します。そのために学校ごとの競争、という意識を捨てて行く必要がある。地域で高齢ではあるが、何かしたいと思っている方はたくさんいる。予算だけでなく、クラブチームで指導をすると、地域ポイントなど工夫の方法はあると思う。ともかく、学校の負担が大きい。クラブチーム等と連携し、学校の施設（体育館）を休日に部活動として開放する際、現在は本校以外の人物がいる場合、指導員は単独で指導できることになっているが、教員も学校にいないといけないことになっている。指導員のみがいれば練習が可能になる環境になればよいと思っています。

これまでの中体連主催の大会は教員が大会の運営を行ってきた。外部以降になった際には成り立たなくなると考えます。

日常的な部活動だけでなく、大会等についてどのような方向性を持っているのかを知りたいです。

まず、今一生懸命指導している教員を大切にしてほしい。平日は無給、休日は東京都の最低賃金を下回る時給千円。これではもう部活動指導は成り立たない。また、完全に地域移行するなら、責任の所在は学校に求めないでほしい。トラブル含めてすべて地域が受け持つ。また、部活動を指導したい教員に対しても、道を残してほしい。

やるなら完全に学校から切り離れた形で行わないと、何かあれば最終的に学校の教員が対応させられてしまう。切り離すためにも部活動という呼び方は変えた方がいい。「クラブチーム」などと呼ぶ形で。

より専門的な指導技術を顧問が指導することは、とてもよいことだと思います。ただ、人材確保が最もたいへんな作業となると思います。中学校の部活動顧問で、部活動に熱心に取り組んでいる人材との関係性も大切かと思っています。

以前、ダンス部顧問をしていたが基本外で習っている生徒がほとんどなので、ただで習おうと言うのは時代にそぐわないと思う。

運動部などで将来的な競技者のレベルの向上（世界で互角に渡り合える選手の育成）を図るなら地域クラブ等に任せるほうが良い。学校生活の中における教育的効果を主眼とするならば現行通りが良い。

学校ではなく、区が主導して地域移行・地域連携を進めてほしい。

完全に地域移行するのであれば、学校の活動から切り離さないと余計に仕事が増えるだけであると思う。中途半端に介入すると、人間関係や拘束違反に関する生活指導を報告のみで現場も見えていないのに指導しなければいけなくなったり、指導員の指導についてのクレーム対応を教員が対応したり等、「それならば自分が顧問をやった方が楽…」となりかねない。「部活」から名称を変えて、学校が場所だけ提供して「〇〇スクール」などを開催し、生徒は希望のスクールに参加する形であればいいと思うが、「部活」のままで保護者も生徒も変化に対する認識があいまいで進んでしまう事には不安しかない。移行するのであればあり方そのものを、「部活動」の形そのものを大きく変えるくらいの改革をしなければいけないと思う。

教員の負担を減らしたいが、人材確保が難しいと聞いている。生徒が活躍したり、活動する場がなくなること自体には反対である。

教員の負担を少しでも軽減できるようにしてほしいです。

教師が持続可能な働き方ができる環境を作ってもらえるようお願いしたい。また、子供達にとって体育的、文化的な活動が必要であるならばそれに関わる人たち（善意によるボランティアではなく労働としてしっかりと賃金が認められる状態）が無理のない関わりができる環境を作ってもらいたい。

区からのトップダウンが一番手っ取り早いとは思う。しかし、反発が大きいだらうから慎重に動かななくてはいけないのもわかる。働いている教員、生徒を通わせている保護者ともに経験したことがない「地域移行・連携」のために、これにかかわる誰しものが、受け身でなく、もっと議論をしていったほうがいいと思う。大げさかもしれないが、「スポーツや文化活動は学校中心」という文化を変えるきっかけになることだと思う。モデル事業をしている自治体の前例を学びながらも、文京区にあった形を模索していくべきだと思う。

区教育委員会がリーダーシップをとって移行をしてもらいたい。校内でも部活動の日数を減らすという案が校長から出たが、部活動を指導したい先生もいて紛糾している。

現在、地域クラブチームの申請は中体連関係者（＝中学校の教員）が窓口となって申請・受付手続きをしているのが専らです。その作業時膨大な時間・労力が発生しています。区として地域移行を進めていくのであれば、このような手続きを区の専門窓口でも扱っていただけると（競技団体と連携をして）ありがたいです。

子どもたちや保護者が満足する形で移行してほしい。

思い切った改革が必要かと思えます。そもそも、運動部などはスポーツ指導やスポーツ医学・医療に関して何の資格も持っていない（監督・コーチング等の資格やスポーツ医療の知識や資格）、素人の教員が部活動の顧問し、練習や指導を行っているのでしょうか？例えるのであれば運転免許を持っていない者が車を運転しているのと同じです。運転免許証を持っていない者が運転をすれば事故が起こるのが当然のように、現に、素人の教員が顧問を行い間違った指導を行ったせいで、多くの生徒が怪我や後遺症、部活動内で生じるいじめや、パワハラやセクハラによる精神的苦痛、体罰で苦しんでいます。そして素人の教員が顧問・指導を行う部活動のせいで、亡くなった生徒もいます。こんな現状がいつまでも放置されていていいのでしょうか？事故が起こっても、無休・無給で教師がやってくれるのであれば良いのでしょうか？

部活動の指導は（特にスポーツ系）、きちんとした資格を持つ専門の方にやらせるべきです。部活動を完全に地域移行することで子供たちの安全が確保でき、なおかつ専門的で正しい指導法により技術も向上します。更に教員の仕事量も減り、休日出勤や放課後の時間、本来の業務に時間を使うことができ、WIN、WINだと思えます。

自治体ごとに実態とニーズが異なるため、学校部活動を学習指導要領に位置付けることには慎重であるべき。抜本的に部活動改革をするなら、学校教育から部活動を切り離さないと学校や地域、保護者等の意識は変えられないのではないかと。

将来的に地域に移行していくのであれば、学校とは切り離していくのが良いと思う。学校の部活動は、教育的配慮の伴った活動であり、地域のクラブ活動は、監督が絶対であり、勝利至上主義が多く見られる。その辺を一体どうするつもりでいるのかが見えません。

人材確保・謝礼、大会等の会場確保・運営（費用）、指導者の研修、顧問教員の関わり方など、今後明らかにしてほしいと思えます。

人材確保・予算確保を第一優先してもらいたい。

是非、教員の未来のためにご協力よろしくお願いします。

早急な地域移行の実現を望んでいます。

早急に実施できることを期待します。

地域に移行しても「部活動」なんだろうか。

地域のクラブへの移行の場合、大会等のあり方で、中体連に頼るのではなく、クラブ等からも積極的に大会運営などに関わっていく体制を作る必要がある。

クラブの運営として、現在の部活動ガイドラインがどの程度遵守されるか不安。

活動場所について、現在でも地域のクラブチームは活動場所がなくて苦慮している。その上に、地域クラブが増えることで、益々活動場所の確保が厳しくなるのではないか。

人件費や活動にかかる費用など、どの程度家庭の負担が増すのか不安。

地域移行については、様々な不安があるが取り組んでいかなければならない課題であると考えている。一つ一つ問題点を解決しながら生徒にとっても、保護者・教職員にとってもよりよい形を模索していきたい。

地域以降する中でどうしても教員が担わなければならない場合は現在部活動指導員がもらっている程度の給料を保証してほしい。

地域移行・連携に当たっては、学校ごとの特色や生活指導等の方針などに十分沿い、対応した形で各校や地域での実施がなされるよう、制度設計や区としての方針を示すようにしていただきたい。

地域移行ができる場合は実施し、できない場合はその分の予算を該当教員に手当として支給すると思います。

地域移行にすることで教員の負担は減ると考える。しかし、放課後の活動は学校生活と絡んでくるので、教員はどのように関わるのか不透明なところが多い。完全に外部指導者に依頼するとなると人材が足りないだろうし、文化部の指導ができる指導者を探すのも困難ではないかという懸念がある。平日の学校生活が16時頃に終わると考えると、放課後の活動で別の場所で行う際は、活動時間の確保ができないのではないかという疑問もあり、どのような方向で進めていくのか早く指針を出してほしい。

また、部活指導を仕事のやりがいと感じている教員もいるので、他で働きながら部活動の指導ができるとなると、教員不足が進む可能性もあるのではと考える。

地域移行は受け皿、指導者、活動場所などが確保できないと進まない。自分が知る限り、このことに教員の負担軽減は進んでいないと感じる。

中体連の廃止、各日本連盟に吸収しクラブチームでの活動。教育現場で一切関わらない。

働き方改革を推し進める中で、政策自体には賛成であるが、実情を鑑みたときに大会運営等の様々な問題があると思う。

特にない

部活動という名目だと、今までの活動を地域の方に協力してもらおうというイメージになる点。保護者と指導者との対応などに追われるのは、先生方への負担が増えるだけだと思うので、配慮をお願いします。

部活動の「地域移行・地域連携」はとても難しい問題だと思います。区、保護者、教員<地域の意見総合的に判断しなければならないと思います。問題を出し合いながら、どこかが単独で方針を出すのではなく、ヒアリングをしていく今の方向を進め、その都度周知をお願いします。

部活動を維持していくのであれば、すぐにでも地域移行を進めるべきである。少なくとも、一人一人の教員に、顧問希望の有無を確認し、希望しない教員に対して、指導を強制するようなことは根絶するべきである。

部活動を学校から切り離せたら幸せな人が増えると思います。

部活動を熱心に見たい先生も多いはず。やりたくても育児や介護が必要で、部活をみるためにお金をかけて子供を預けている先生もいます。ですが、平日は無賃で、休日にも子供を預ける費用>特金手当という現状も。部活動地域移行とともに教員の平日部活指導(勤務時間外)に対する手当、休日の特勤手当の拡大を求めます。

部活動顧問をやりたくない人にやらせていることが問題。部活動と働き方改革は別物であり、自分から部活動指導を行いたい人にとっては、地域移行される方が煩わしいことが増え、指導もやりにくくなる。

部活動指導がとても負担に感じるので、早急に改善してほしい。

平日の活動を支援して頂いていますが、教員の負担は大幅に軽減しています。私自身も指導者資格を持っていますが、校務や子どもの保育園のお迎えがあり、どうしても万全の指導体制は整えられません。専門の指導者がいることで、活動がよりよいものになっています。

文京区の環境整備に向けた取り組み、本当にありがとうございます。生徒、教員、地域の指導者がお互いにメリットがあるような地域移行を進めていきたいと考えています。

名目上地域移行、中身は依頼された教員が、学校施設を使い活動するという形態は、今以上に負担になると同時に混乱するので、避けてもらいたい。

様々な課題があると思います。

運営を誰が行う。けがをしたときの対応。練習場所。連絡手段。練習試合や公式試合の扱い。会費の扱い。部活動の私物化。学習と部活動の連携。あくまでも一例をあげました。

何かあればお手伝いします。

令和7年度を最終年度とすることには無理があると思う。